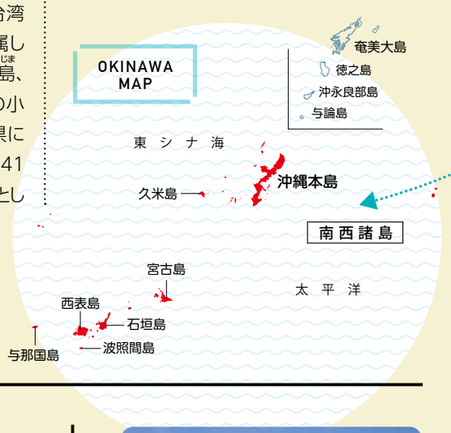
あらまし 沖縄県ってどんなところ？

日本の南西に位置する沖縄県。東西約1,000km、南北約400kmの広大な海域には、大小160余の島々が点在しています。沖縄県には、独自の歴史と文化、亜熱帯ならではの自然や風物があります。

Q どのくらいの大きさ？

A 全国で4番目に小さい県です。

沖縄県の総面積は2,280.98㎢（国土地理院、平成29年）で、香川県、大阪府、東京都に次いで全国で4番目に小さいのですが、東京都を中心に東北から中国地方までを覆ってしまうほど広大な県域を持っています。九州と台湾の間に弓なりになった南西諸島に属しており、沖縄本島、宮古島、石垣島、西表島の4つの大きな島と約160の小さな島で構成されています。沖縄県には、県庁所在地の那覇市をはじめ、41の市町村があります。那覇市を中心とした半径1,500kmの圏内には、上海や台北、香港、ソウル、マニラなど、アジアの主要都市があり、沖縄は中国や東南アジアなどに最も近い距離にある日本の南の玄関と言えます。



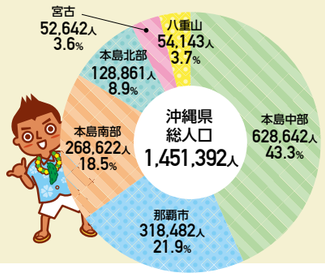
Q 人口はどのくらい？

A 人口約145万人、出生率は全国1位です。

沖縄県の人口は、太平洋戦争前は50万人台でしたが、戦争で大きな被害を被ったため激減してしまいました。しかし、その後年々増加し、昭和47年の日本復帰時には約96万人、昭和49年には100万人を突破、平成31年には約145万人となっています。また、平成27年の厚生労働省の調べでは、平均寿命は女性87.44歳、男性80.27歳、人口1,000人あたりの出生率は11.9（全国1位）となっています。

● 地区別人口の割合

資料：沖縄県企画部統計課「県推計人口」（平成31年3月1日現在）



慶良間諸島国立公園

Q どんな気候、自然環境なの？

A 平均気温23.1℃、亜熱帯の自然豊かな島です。

亜熱帯海洋性気候に属する沖縄県は、サンゴ礁の美しい海に囲まれた自然豊かな島です。特に多くの固有生物が生息する県北部のやんばる地域や慶良間諸島は国立公園にも指定されています。年平均気温 23.1℃と一年を通して温暖で、国内屈指のリゾート地としても人気です。春から夏にかけては比較的雨量が多く、夏から秋には熱帯低気圧の通過路となって毎年数個の台風が来襲します。

P10～をチェック！

● 那覇市の気象　資料：気象庁［統計期間1981-2010］

事項		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
気温（℃）	平均気温	17.0	17.1	18.9	21.4	24.0	26.8	28.9	28.7	27.6	25.2	22.1	18.7
	最高気温平均	19.5	19.8	21.7	24.1	26.7	29.4	31.8	31.5	30.4	27.9	24.6	21.2
	最低気温平均	14.6	14.8	16.5	19.0	21.8	24.8	26.8	26.6	25.5	23.1	19.9	16.3
月平均降水量（mm）		107.0	119.7	161.4	165.7	231.6	247.2	141.4	240.5	260.5	152.9	110.2	102.8

Q 独自の歴史や文化があるの？

A 琉球王国時代から諸外国の影響を受け、独自の文化を育みました。

沖縄県はかつて「琉球王国」という独立した国家で、中国をはじめ、日本、朝鮮、東南アジア諸国などとの交易によって繁栄しました。そのため、食文化や芸能、工芸、武道など、各国の影響を受けながら独自の琉球文化を形成していきました。また、戦後は27年間もアメリカの統治下に置かれていたため、町並みやグルメなどにアメリカ文化の影響を感じることができます。

このような歴史的背景によってさまざまな外国文化を融合させてきた沖縄文化は、いろいろな素材を混ぜ合わせて炒める沖縄料理「チャンプルー」になぞらえ、「チャンプルー文化」とも呼ばれています。

首里城

空手

沖縄そば

紅型

P16～、22～をチェック！

Q 産業の特徴は？

A 観光業が中心で年間約1,000万人の観光客が訪れています。

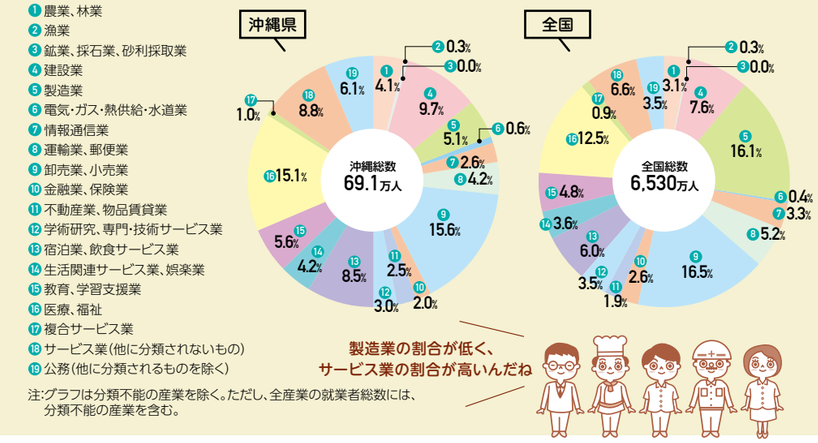
沖縄県の産業の特徴は、第3次産業と第2次産業の建設業の割合が高いことです。第3次産業の中心は観光業で、令和元年の入域観光客数は 1,016 万 3,900 人と過去最高を記録しています。第1次産業の農業は、ランや菊などの花き栽培、ゴーヤーやマンゴーなどの野菜・果物生産が盛んです。漁業はカツオやマグロ漁のほか、もずくは日本一の生産量を誇ります。畜産では豚や肉用牛が出荷されています。

沖縄県は本土と海を隔てた島嶼県であるため、市場が限られている、物流コストが割高になるなど、他県に比べハンデがあるのも実情です。

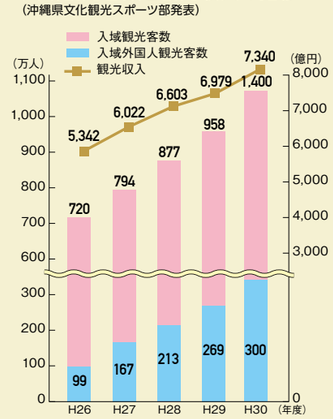
P34～をチェック！

● 産業別就業者の構成比

資料：総務省統計局 労働力調査（平成29年）



注：グラフは分類不能の産業を除く。ただし、全産業の就業者総数には、分類不能の産業を含む。

● 入域観光客数と観光収入の推移

（沖縄県文化観光スポーツ部発表）